

# 株式会社ジェイコムイースト 西東京局

## 平成 24 年度 第 17 回 放送番組審議会 概要

平成 24 年度の放送番組審議会は 2012 年 12 月 4 日(火)に西東京局で開催された。

### <放送番組審議会委員>

ご出席 (五十音順)

坂 井 明 成 様      下 崎 闊 様      高 木 亮 教 様  
田 中 茂 夫 様      松 永 和 子 様      村 田 清 様

ご欠席 (委任)

今 村 広 司 様

事業者側から現況報告及び J:COM チャンネルの報告があった。

### 【質疑応答】

(地元番組)

委員 前回の審議会で懸案となっていた意見が反映されているのでよかった。

知人が『ジモトピ』に出演したが評判がよかった。まだまだ地元の出演者が少ないように思えるので、取材依頼をしやすいしくみを作ってほしい。来年から地元の枠が増える予定とのことで楽しみにしている。

別件だが、アニメ系のチャンネルで時々小さい画面になることがある。HDテレビで見ていると周りに黒い枠がでてしまうのは見苦しく不便である。

事業者 地元の情報を伝えることに関しては、以前から市民参加型コーナーや地元伝言板があったが、あまり定着していなかったことを反省し、来年からはコーナーとして毎回放送していく予定である。

2015 年 3 月末までデジアナ変換の義務があるため従来のテレビでもデジタル放送の視聴が可能である。画面に黒い枠が出るのはふたつの原因が考えられる。テレビ側の設定の可能性もあるので、スタッフを派遣し対応させていただきたい。

(JCNとの統合)

委員 JCNとの統合が来年の秋に予定されているとのことだが、それによって放送の内容や方法に変化があるのかを伺いたい。

事業者 正式にはまだ統合が決定しているわけではない。住友商事とKDDIの会社間のプロセスを経てから実施されることになる。現時点では、JCNと日常レベルで番組素材の交換を積極的に行っている。関東メディアセンターからは、『高円寺の阿波踊り』や『浅草サンバカーニバル』を提供している。今後は、文化圏の近い局である、JCNマイテレビ(立川)、JCN八王子と連携して相乗効果を出していきたいと思っている。

#### (国体の番組制作)

委員 国体の番組を制作予定とのこと楽しみにしている。

事業者 日本ケーブルテレビ連盟の東京支部と連携し、東京都内にあるすべてのケーブルテレビ局で国体を盛り上げていこうという動きがある。開催期間中にダイジェスト放送をすることを検討している。

#### (加入率)

委員 地域の加入率が3分の1とのことであるが、これが多いのか少ないのかわからない。価値判断はどうなっているのか教えてほしい。

事業者 グループの中では加入率の高い地域である。条件が異なるが地方では加入率が8~9割のところもある。

#### (番組のあり方-1)

委員 J:COMの番組に出演している芸能人の人気が高く、多くの人にJ:COMを見たと言われた。エリア内の1/3の世帯が加入していることもあり、J:COMが地域に親しまれているのだと改めて感じた。『高校野球西東京予選大会』は、甲子園に行けるのは一握りのチームであるという理由から、選手たちにとってとても励みになる番組である。今後も継続してほしい。小平市を取り上げた番組では、都会でもあり田舎でもあるこの地域のよさがよく出ていた。全国的な番組より、もっと地域の人物を取り上げて情報発信して地元むけの放送を強化してほしい。住んでいても知らないところがたくさんあることに気付かせてもらえる。オンデマンドサービスを利用した防災・防犯情報の提供を検討してほしい。

事業者 市民生活に直結している情報を双方向サービスで提供していく予定である。若者のライフスタイルはスマートフォンやタブレットになっていきテレビ離れが進んでいる。働いている層は夜間しかテレビを視聴する機会がない。そういう意味でもコンテンツをどんどん流通させていきたい。

#### (番組のあり方-2)

委員 JCNと統合すれば、三鷹、武蔵野、立川、八王子などの各地域の情報が、ニーズに

対して的確に提供できるようになると思われるので歓迎したい。地域の構成が様変わりし、質と量が変わってくる。現場記者のニュースとして全国、地域に放送していけるのか。この機会に検討、整理して欲しい。

番組に地域性を求められている。J:COMしかできない番組、例えば『くらやみ祭り』ならば、舞台裏で支えている人々を長期的に追いかけて取材し、当日に結びつけていけるような番組作りをしてほしい。行政ともきめ細かい連携をしていければよい。

事業者 番組編成は全国枠、関東枠、市町村枠のように別れていて、デジタルの二つのチャンネルを運用している。JCNの優良な番組は10CHで放送していく予定である。

もっと踏み込んだ内容、長期的なスパンで追いかけるようなドキュメンタリー番組などが作ればよいと感じている。11CHは地域で必要とされているような存在でなくてはならない。また、行政との連携はどんな些細な事項でも重要であると認識している。

### (番組のあり方-3)

委員 番組が見やすくなってきて、あか抜けてきた。スタジオのづくりも民放に近くなってきた。ニーズにとらわれすぎず、失敗を恐れず戦略的に打って出るようにすればますます伸びていくと思う。どんどんチャレンジして欲しい。

事業者 お褒めの言葉をいただき感謝したい。まだまだ改善の余地があると認識しているので、是非至らないところも指摘していただきたい。

### 【意見交換】

委員 地域番組は以前の方が密着していた感じである。東久留米市が取り上げられる機会が少なくなったように思う。

委員 社員や制作スタッフがリポーターとして番組に登場する姿勢を評価したい。

委員 J:COMの知名度を上げるために、地域イベントへの協賛や後援をするなど露出を増やしていけばよいと思う。例えば J:COM 杯のスポーツ大会を主催してはどうか。即時的に対応できる地域メディアとなってほしい。

事業者 他の地域で実施している少年野球大会は評判がよいので、他の地域にも拡げていけるかを検討している。

委員 EPGを使用して予約録画できる期間が8日先までとなっている。これを2週間先ぐらいいままでにできないか。当初から J:COM に加入しているので、未加入者への知名度がわからない。

事業者 新しい端末を開発している。予約可能期間は1ヵ月程度になる見込み。スマートフォン、タブレット型端末、アプリケーション、無線機能を提供していく予定。一般への J:COM の認知度をリサーチしたところ、営業車両やテレビのコマーシャルによるもので、98%であった。

委員 よい番組が多くなってきているので、力を入れて作っている番組、自信がある番組を、番組ガイド誌とは別にチラシを作成するなどしてもっと宣伝してはどうか。

事業者 J:COM チャンネルの案内が新聞のテレビ欄にあるのが理想である。

委員 台東区などの下町地域は、東京スカイツリーで話題となっている。他の地域の『ジモトピ』や『ほっとセレクション』をインターネット配信でもオンデマンドサービスでもよいから見たい。

事業者 近隣エリアの『ジモトピ』は土・日曜日に編成しているので、視聴することができる。

以上